



アフガニスタンに関する東京会合



- 【日時】 2012年7月8日
【場所】 東京
【議長】 日本政府(玄葉外相)及びアフガニスタン政府(ラスール外相, ザヒルワル財務相)の共同議長
【参加者】 ドナー諸国, アフガニスタン周辺諸国及び関連国際機関の計70程度

東京会合の主たる目標

アフガニスタンの持続可能な開発の道筋をつける

【背景】

- 国際治安支援部隊(ISAF)からアフガニスタン政府への治安権限の移譲が完了する2014年末以降も見据え, アフガニスタンの持続可能な開発を確保することが国際社会の主要課題の一つ。

【目指すべき成果】

- 2014年末及びそれ以降の「変革の10年」(2015年-2024年)における, 国際社会とアフガニスタン政府の間のパートナーシップを再確認。
- アフガニスタンの持続可能な開発戦略についてのアフガニスタン及び国際社会の課題と挑戦を明確化し, 長期的な相互のコミットメントにつき確認。

東京会合の議論のポイント

◆ アフガニスタンと国際社会の相互コミットメント

- 長期的で持続可能なアフガニスタンの経済・開発戦略
- アフガニスタンの経済・開発戦略に対する国際的な援助調整
- アフガニスタンのガバナンス改善

◆ 地域経済協力

◆ フォローアップ・メカニズム